

学校給食でレイクオスエゴ市と交流



9月10日、学校給食で国際友好姉妹都市のレイクオスエゴ市にちなんだ献立を提供しました。また、昼休みを利用して、南中学校、学校給食センター、レイクオスエゴ市とオンラインで交流会を行い、英語を交えてお互いの地域の魅力や文化を紹介し理解を深めました。

運動のきっかけづくり！



10月8日・15日、おあしすで65歳以上の男性を対象とした運動教室を開催しました。運動のきっかけづくりを目的にピラティスや体のバランスを整える運動を行いました。当日参加者からは「楽しんで運動ができたので、リフレッシュになった」との感想が寄せられました。

ハイク探検中！



10月2日、台風一過の晴天の中、市の魅力を詠む「ハイク探検団」を開催しました。参加した子どもたちは、吉川市俳句協会の西崎氏の指導の下、市役所から中井沼公園、沼辺公園をハイキングしつつ、五感で感じたことをヒントに俳句を詠みました。

先人が伝え残したもの



10月12日、市制施行25周年記念誌「絵本吉川むかしばなし第2集」の舞台となった現地を市バスで巡りました。絵本を見ながら職員の説明に耳を傾け、古き吉川を知り、先人の思いに触れることができました。

なるほど！ S | D | G | S

小さなことから
コツコツと



2015年の国連サミットで採択された、2030年までに達成を目指す国際目標です。貧困や気候変動などの世界的な課題を解決するために「誰ひとり取り残さない」という理念のもと、17の目標と169のターゲットが設定されています。

2020年時点で8,240万人いる難民

世界のさまざまな場所で、希少資源の奪い合いや、文化的背景の違いにより武力による紛争などが起こっています。こうした紛争などで住む場所を追われ、避難生活を送る「難民」の数は世界で8,240万人にもものぼるといわれています。人口過密になってしまった難民の受け入れ施設では、衛生環境の悪化により感染症などの病気が起こりやすい他、女性や子ども、障がい者、高齢者などの人権が守られず、自由が制限されることもあります。

目標16
平和と公正を
全ての人に

16 平和と公正を
すべての人に



日本での課題

日本国内にいわゆる紛争はありませんが、平和で公正な世界をつくるためには、多くの人が政治に参加することが必要です。日本の投票率は52.7パーセントで世界200カ国中158位と、多くの人が政治に参加しているとはいえない状況です。

私たちにできること

選挙に行くなど積極的に政治に興味を持ち、参加することが重要です。また、世界にはどのような紛争があり、そこに住む人はどのような生活を強いられているのかといった世界的な問題に関心を持ち、関連するイベントへの参加や募金をするのも立派な課題解決に向けた行動です。